

科目名	化学演習Ⅰ		学年	類型・コース	単位数
			2年	自由選択Ⅰ・普通	2単位
学習の目 標	物質の性質や変化に規則性があることを理解する。「モル」の概念を導入し、化学変化の量的関係を理解する。身の回りの化学現象に対して、科学的に探究する能力と態度を育てる。				
教科書 副教材	主たる教材：自主教材 副教材：なし				
評 価	評 価 法	①定期考査(各学期1～2回) ②小テスト ③ノート ④授業反応 ⑤実験態度 ⑥実験操作 ⑦実験レポート			
	評 価 観 点 の 趣 旨	a	知識・技能	日常生活や社会との関連を図りながら、化学や化学現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を図る。	
		b	思考・判断・表現	化学や化学現象を科学的に探究するために、見通しをもって実験や観察を行い、一連の学習を自分のものにする。	
		c	主体的に学習に取り組む態度	様々な化学に関する事象に対して主体的に関わり、気付きから課題を解決しようとする態度を養う。	
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。				

期	月	時数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1学期	4月	6	原子量・分子量と式量	原子量・分子量と式量について理解し、基本的な計算ができる	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	5月	8	物質質量	物質質量について理解し、基本的な計算ができる			
	6月	8	溶解と濃度	溶解と濃度について理解し、基本的な計算ができる			
	7月	4	化学変化と化学の基本法則	化学変化と化学の基本法則について理解している			
夏休み							
2学期	9月	8	酸と塩基	水素イオン濃度について理解し、基本的な計算ができる	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	10月	8	中和と塩、中和滴定	中和と塩、中和滴定について理解し、基本的な計算ができる			
	11月	8	酸化と還元	酸化還元反応について理解する			
	12月	4	酸化数と酸化剤・還元剤	酸化剤と還元剤の反応について理解し、基本的な計算ができる			
冬休み							
3学期	1月	6	酸化還元反応の量的関係	酸化還元反応と電子のやりとりを含む関係について理解する	定期考査 小テスト 実験操作	定期考査 実験レポート	ノート 授業反応 授業態度
	2月	6	金属のイオン化傾向	金属のイオン化傾向について理解している			
	3月	4	無機物質の利用	非金属元素の性質について理解している			

担当者からのメッセージ（学習方法など）
毎時間の授業を大切にし、テスト前は演習問題を繰り返し行うとよい。